

行岡病院 基本方針

昭和9年創設以来、外傷外科を中心とした永年の蓄積された歴史をもって、地域社会の皆様から多くの信頼を頂いております。

また、脳神経外科・内科を始めとして、優れたスタッフによる患者様本意の暖かな医療を実践しております。

更に、高齢化社会における患者様のご要望にお応えするべく、骨関節及び慢性関節リウマチを設置し、万全のアフターケアの体制を整えております。

最近では、デジタル画像ファイリングシステムなど、先進的機器を導入した眼科部門及び、新しく開設された脊椎・脊髄センターなど高度診療を目指して、日々努力しています。

生命医学から幸せの医学を病院のモットーとし、医学的治療の切磋琢磨にとどまらず、入院環境を含めた総合的な患者様へのケアが行えるよう努力することを本院の基本方針と致しております。

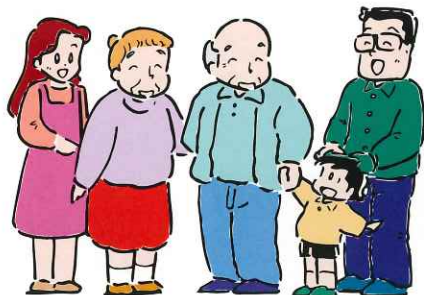
行岡学園 教育理念

本学園創設者 行岡忠雄は、西洋医学的な観点より行う外科施術に加え、日本古来の接骨術を体系的に整理した上で、実際に役立つ教育を行う場の必要性があるとの視点から、昭和7年に大阪接骨学校を設立しました。

その後現在に至るまで、整復科、鍼灸科を始めとして合計8つの医療系学科を有し、行岡病院との連携を密にした医療総合学園として多くの卒業生を世に輩出して参りました。

この間、局所的な診療を中心とした西洋医学と、人間全体を診ることが必要とされる東洋医学のそれぞれの長所を取り入れ、技術的にも人間的にもより質の高い医療技術者を養成してきました。

医学の学術理論はもとより、実地技能の専門教育も併せて行い、兼ねて医療人としての品性を陶冶し、人類の福祉と健康の保持増進に寄与することを本校の理念と致しております。



編集後記

今年度から編集委員が変わりました。これを機に紙面を少し変え、ちょっと堅苦しくなりましたが、病院の基本方針、学園の教育理念を掲載し、いま一度、基点 原点を見つめ直そうかと考えました。(編集委員 M. T H. F)

ひこばえ

Vol.17

—ゆきおかニュース—

行岡病院・行岡学園 広報部 大阪市北区浮田2-2-3 TEL: 6371-9921(代)
行岡病院 <http://www.yukioka.or.jp/> 行岡学園 <http://www.yukioka.ac.jp/>



EBMと私の考え方

行岡病院 副院長 行岡 秀和

Evidence based medicine (EBM)という言葉が、臨床の現場を混乱させて久しい。要するに、根拠のない医療をしてはいけないという当たり前の話なのだが、生真面目な日本の医療者はそうはいかないらしい。

救急蘇生で社会復帰させるevidence は早期除細動だけだときくと、愕然としてしまう。確かにEBMの荒波にも負けず高く評価されている早期除細動の効果は素晴らしく、心停止後5分以内に行われると50%以上の方が社会復帰する。自動体外式除細動器(AED)は今や一般市民が使用可能であり、関西空港にも設置されている。

しかし、考えていただきたい。早期除細動のような、それ一発で一気に改善する医療などそうざらにあるものではない。当てもののように治験を繰り返しても結果は「はずれ」ばかりである。

急性呼吸窮迫症候群(ARDS)は最重症の呼吸不全だが、過去20年間ARDSの生存率を上昇させた治療法は、低一回換気量(6-8 mL/kg)による人工呼吸療法のみである。こ

の低一回換気療法は必ずしもまだ一般的ではない。

ところが、アメリカではARDSの生存率が20年の間に30%から60%に上昇しているそうである。この理由として、ICUにおけるモニター機器の充実や熱心な看護が上げられている。なんとも当たり前の話である。

EBMが経験重視の医療に警鐘を鳴らしたことの功績は認めるが、日常の医療すべてにEBMを持ち出すのは、明らかに行き過ぎである。

ARDSの生存率上昇は、医療における日常的な努力の重要性を示している。ちなみにいえば、ある患者さんにとっては、「その薬が必ず効く」というのが最高のevidence(1例evidence)であり、他の大多数の患者様に効果がなくてもそれは関係ないことである。



新入職員の抱負

行岡病院 理学療法士(リハビリテーション科) 花崎 太一

本年度、理学療法士として入職しました花崎太一です。私は、当院母体の行岡リハビリテーション専門学校33期生で、今春卒業しました。学生時代は、先輩や同級生など周りの方に支えられ、理学療法士としての基礎をつくることができました。高校卒業すぐの入学で、精神的にも未熟だった自分を熱心に指導してくださった教員の先生には感謝の気持ちで一杯です。入職希望した理由は様々あるのですが、大きな理由として前述した通り、学園に対する感謝の気持ちから「病院、学園に恩返ししたい」と考え入職しました。業務の方は四月一日から始まりましたが、まだ上手いかないことが多いです。早く業務に慣れ、患者様のためによりよい理学療法を提供できるように毎日悪戦苦闘しながら取り組んでいます。これから、一社会人、一理学療法士として、患者様のためにできることを常に考え、患者様と同じ目線で向き合っていきたいと思っています。

行岡学園 専任教員(鍼灸科) 齋藤 芳枝

想い起こせば月日が経つのは早く、7年前に鍼灸科を卒業しました。鍼灸院、病院と臨床家の道を志しましたが、自分の勉強不足等を痛感して、もう一度整復科に入学し、今年、晴れて卒業することができました。ご縁があって母校である行岡鍼灸専門学校に入職できた事を誇りに思っています。

近年、国家試験の難易度も増しており、また少子高齢化といった時代に、質のよい学生の確保は、一層の努力が必要であると考えられます。教務に課せられた使命とし、鍼灸科・整復科のOBとして、教務と学生とが一丸となり、最終目標である国家試験の合格に導き、より良い臨床家の育成に努め、諸先生方が培われた七十年余り続く伝統ある行岡の名に恥じないよう、時代にあった教務を目指していこうと考えています。

重責ではありますが、常に研鑽しながら初心を忘れず頑張っていきますので、何卒ご指導承りますよう宜しくお願い致します。

看護師(7階病棟)

新本 未恵

行岡病院に入職して、早くも一ヶ月が経とうとしています。現場では、毎日が緊張の連続で、先輩方に指導を頂き、気付く事が多く改めて、報告・連絡・相談の重要さを感じます。リハビリテーション病棟では、患者様のペースを保ち、一つ一つを確認しながら看護を行い、少しずつADLの拡大へとつなげる事で、患者様と一緒に喜びへと変化します。理学療法や作業療法、言語療法など、他職種の方々と目標を設定し、一貫したケアの提供ができ、リハビリを頑張られている患者様が、「これができる！」などの声を聞くと、嬉しさが倍になります。日々患者様に学びを得る事で、これに応えられる看護師になりたいと思い、常に患者様本意の看護の提供ができるよう、先輩方の助言・指導を活かし、今後も初心を忘れず看護とは何か、という事を日々追求していきたいと思っています。



専任教員(放射線科) 吉川 嘉寿浩

私は大阪大学大学院理学研究科で物理学を専攻し、その後、医療機器メーカーなどに勤務しましたが、学生時代に学んだことを活かせる仕事にはなかなかめぐり逢うことができませんでした。そんな中、自分の今までの経験を活かしつつ、少しは社会の役に立つ仕事はできないものかと、近畿医療技術専門学校放射線科の夜間部に入学し、そしてこの春、学園教務部の放射線科に入職させていただきました。

診療放射線技師試験は昨年からの出題形式や出題基準が変わり、全国での合格率は70%台前半に留まっております。このような状況下において国家試験に合格するためには、もちろん学生さんたち自身が頑張ることが大切なのですが、そのような学生さんたちをサポートできればと思っています。また、私が経験したことを少しでも役に立ててもらえるよう、私自身も学生さんたちと一緒に頑張っていきたいと考えています。

院内情報

- 1月4日(火) 新年互礼会
- 2月3日(木) 豆まき(デイケア)

- 2月17日(木) 永年勤続表彰式(合同)

午後0時30分から、行岡病院4階多目的ホールにて、平成16年度 永年勤続表彰式が行われました。

行岡病院では勤続35年1名を含む31名の方々が、行岡学園では勤続20年1名を含む2名の方々が、それぞれ表彰を受けられました。

表彰を受けられた方々は、今後とも職務に精励して頂き、更に病院・学園の発展に寄与されることを望みたいと思います。

- 3月16日(水) 慰霊祭

午後1時から、行岡学園2階ホールにて、平成16年1月から12月の1年間にご逝去された患者様97名の方々について、ご冥福をお祈り致しました。

当日は、ご家族の皆様、行岡院長、副理事長、副院長をはじめ、看護師、技師など多くの病院関係者の参列がありました。

- 4月1日(金) 入職式(合同)

病院の多目的ホールにて、午後2時より病院・学園合同で開催され、理事長挨拶後、薬剤師、理学療法士、看護師、事務職、学園の専任教員へ辞令が、また、看護師2名の役職が発令されました。



学園情報

- 1月8日(土) 仕事始め

- 3月5日(土) 卒業式

理学療法学科38名、看護第1学科36名、看護第2学科44名、整復科昼間部50名、夜間部49名など8学科総数494名の学生が医療の世界へと巣立ちました。

- 4月11日(月) 入学式

放射線科、臨床検査科、歯科衛生科、鍼灸科など8学科へ519名の新入生が、コメディカルへの道へ第1歩をおろしました。